

第1章 本市の現状分析

ここでは、本市の現状を把握するなかで、強み・弱みを分析し、本市が伸ばすべき資源や克服すべき課題について整理します。

1-1 現状分析

1. 気候

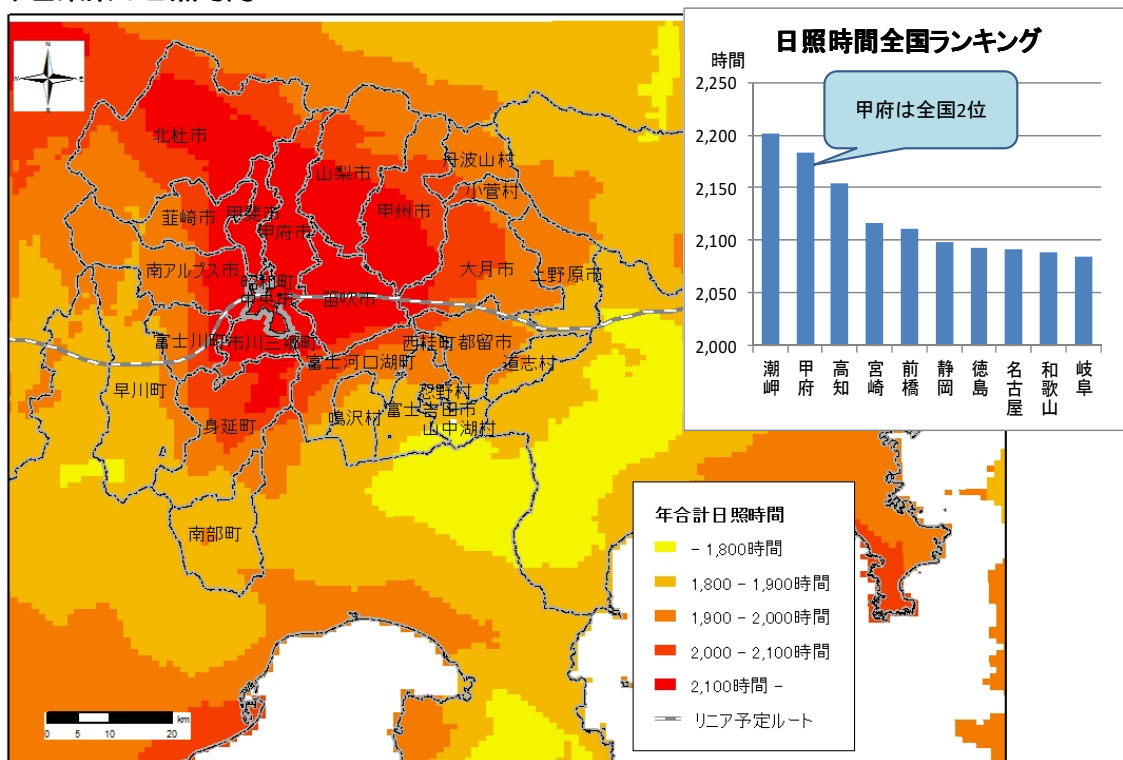
本市の気候は、夏季は非常に暑く、冬季は北西の季節風（ハケ岳おろし）が吹きおろしても寒い、盆地特有の内陸性気候の特徴を有しています。

また、全国的に見て1日の気温差が大きく、年間の降水量が少ない特徴を有しています。

さらに、全国上位の日照時間を有する甲府市に隣接していることから、本市においても同等程度の日照時間を有していると推察されます。

1981年から2010年までの30年間のデータの平均によると、年間降水量は1,135.2mmで、年間日照時間が2,183時間、年平均気温が14.7℃となっています。

◇山梨県の日照時間



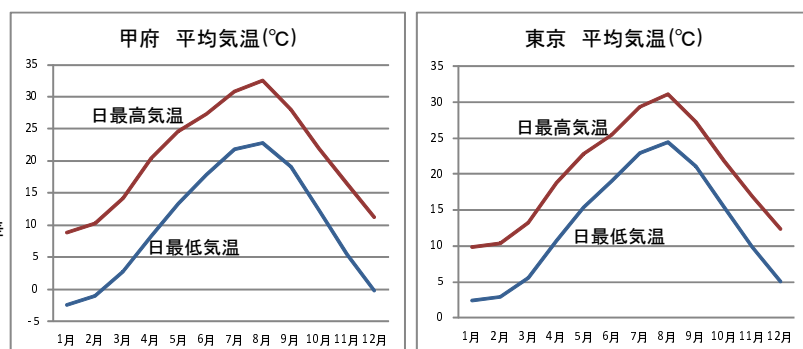
出典（山梨県の日照時間）：国土数値情報（平成24年気象庁データ）

出典（日照時間全国ランキング）：気象庁気象データ平年値（1981-2010年平均）

■1日の気温差(平年値)

甲府	10.5℃
東京	8.2℃

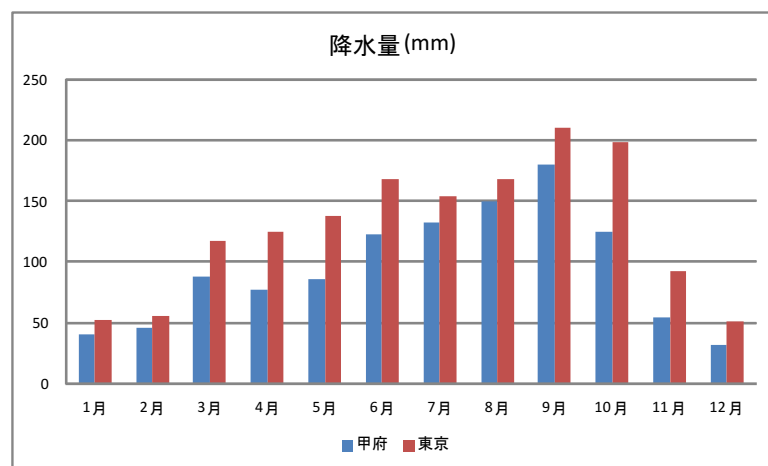
年平均最高気温と年平均最低気温の差



出典：気象庁気象データ平年値(1981－2010 年平均)

■年間降水量(平年値)

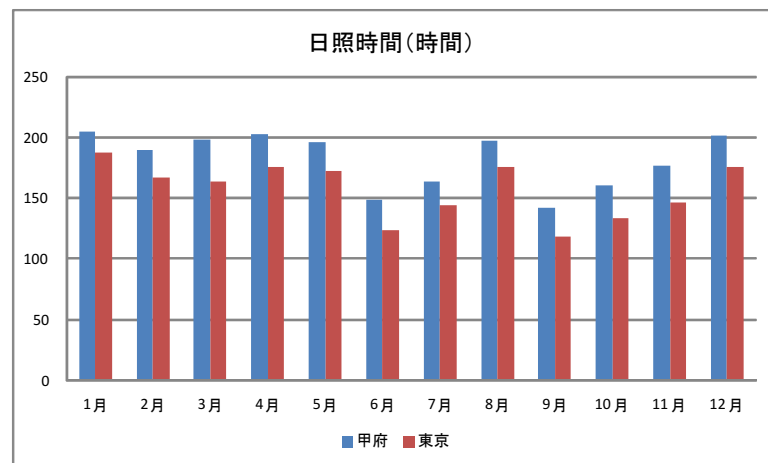
甲府	1135.2mm
東京	1528.8mm



出典：気象庁気象データ平年値(1981－2010 年平均)

■年間日照時間(平年値)

甲府	2183.0時間
東京	1876.7時間



出典：気象庁気象データ平年値(1981－2010 年平均)

2. 人口

本市の人口は、平成17年までは増加傾向で推移していましたが、平成17年の31,650人をピークに減少傾向に転じています。

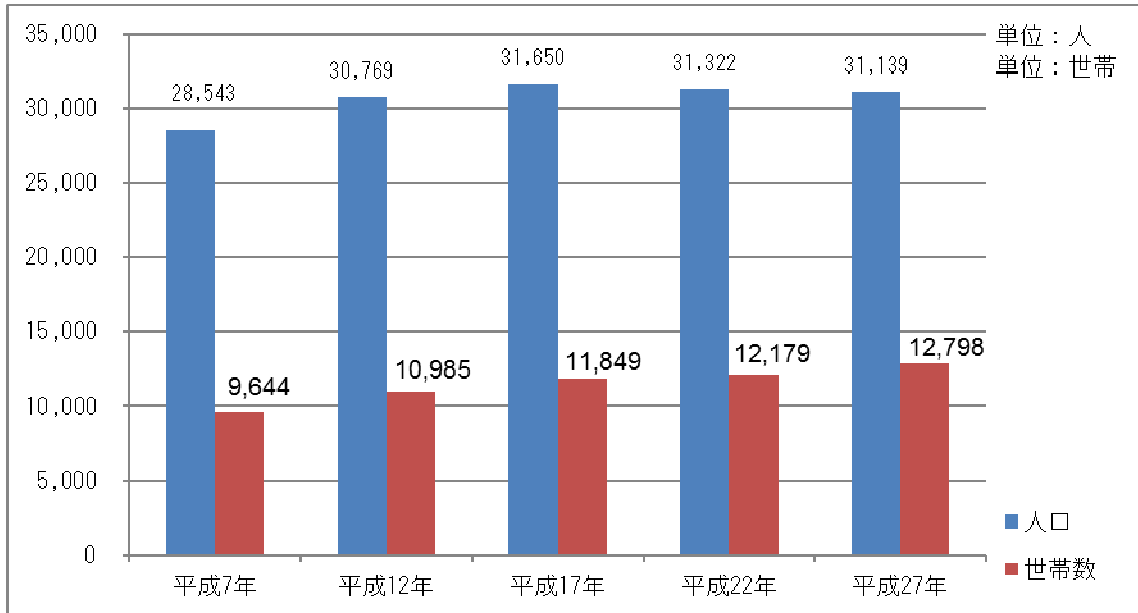
一方、世帯数については、増加傾向で推移しています。

高齢化率の推移は、年々上昇傾向にあるものの、県平均や国平均に比べ、低い水準にあります。

人口動態では、出生児数と死亡者数の自然増減は、年により若干の逆転はあるものの、出生児数が死亡者数を上回っている年が多いです。

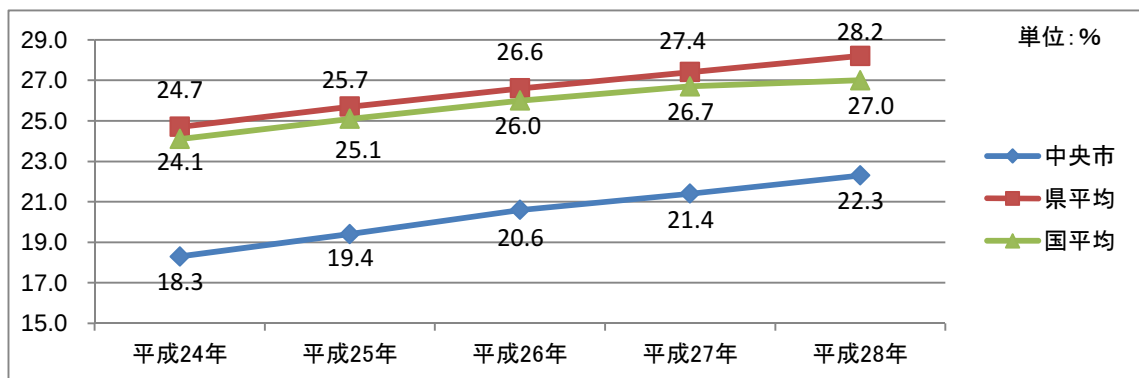
また、転入者数と転出者数の社会増減では、転入者数よりも転出者数が上回っている状況です。

◇人口と世帯数の推移



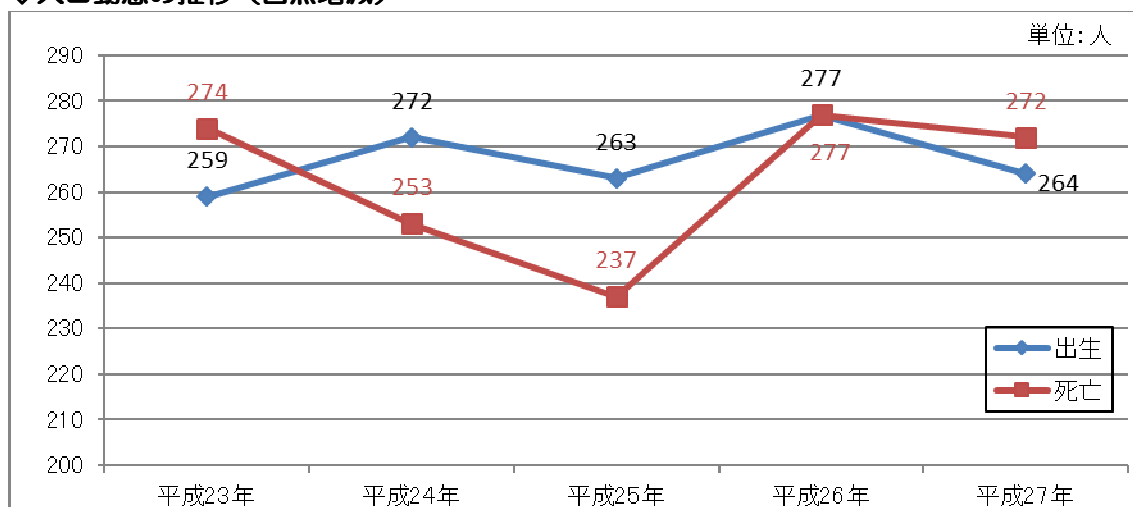
出典：国勢調査

◇高齢化率の推移



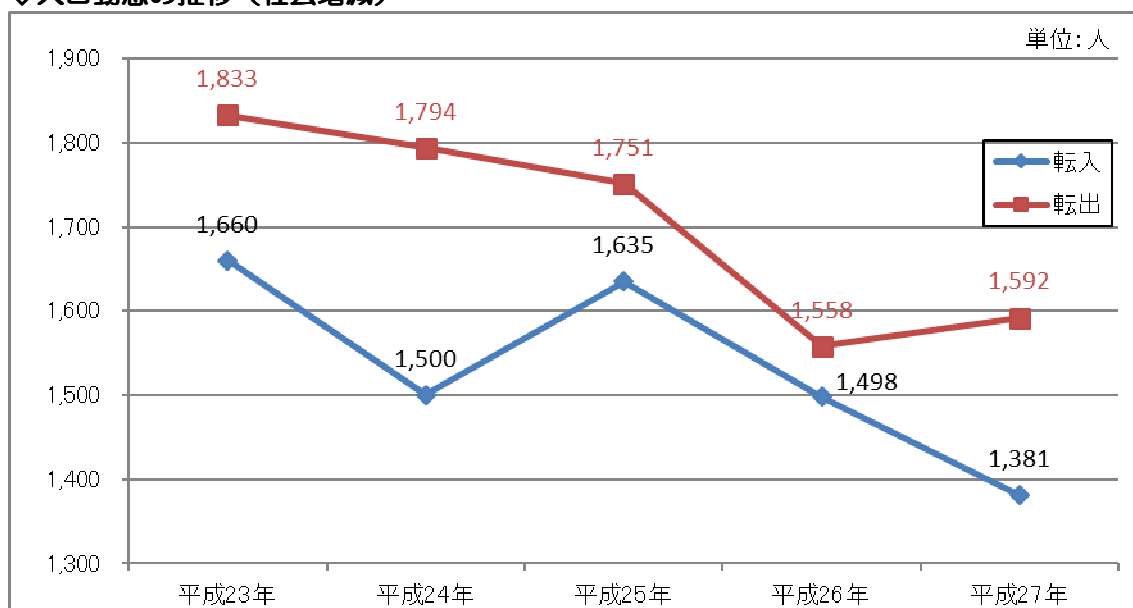
出典：山梨県高齢者福祉基礎調査

◇人口動態の推移（自然増減）



出典：山梨県常住人口

◇人口動態の推移（社会増減）



出典：山梨県常住人口

3. 土地利用（現況）

本市の土地利用は、田畑の農地が891ha（28.0％）と最も多く、次いで山林の642ha（20.2％）、宅地の621ha（19.5％）の順となっています。

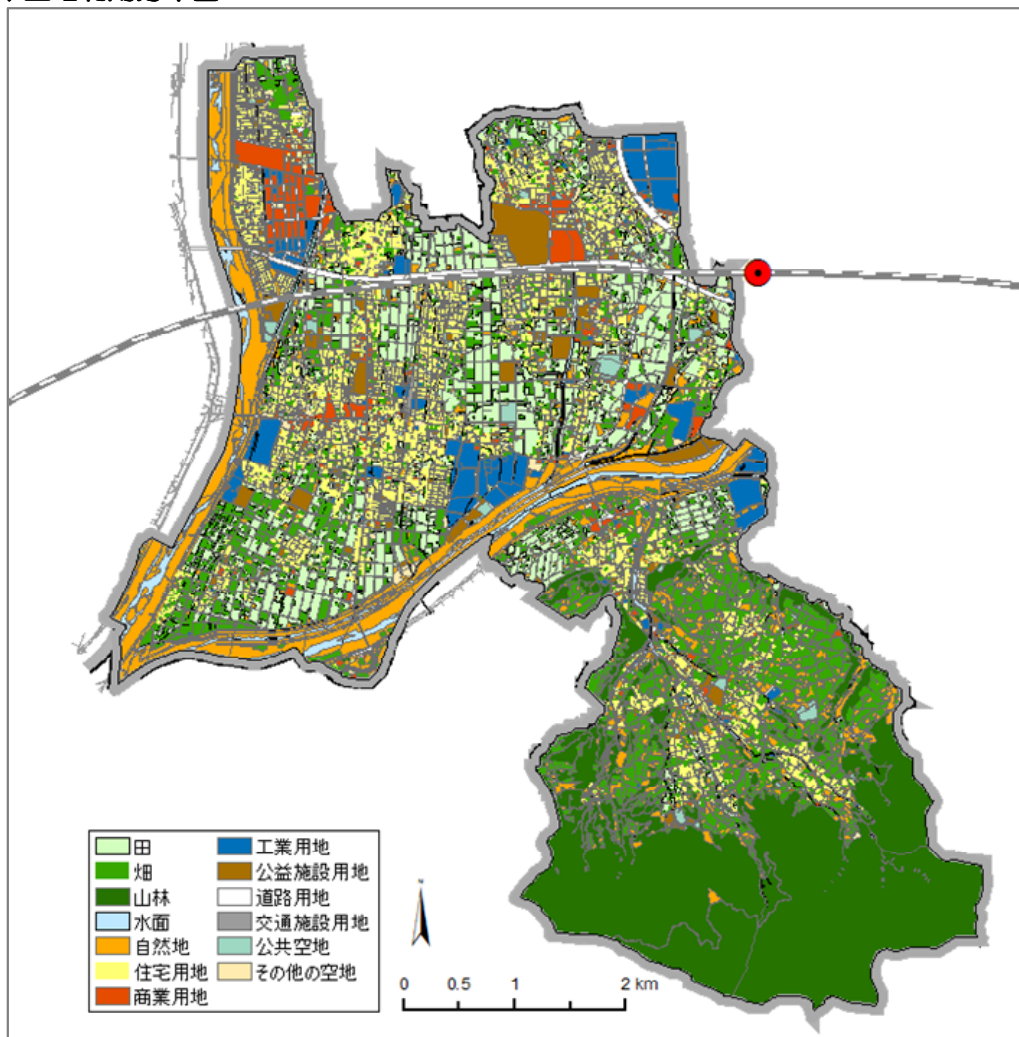
玉穂地区や田富地区では農地と宅地を主体とした田園都市的な土地利用となっており、玉穂地区や田富地区の市街化区域を中心に市街化が進んでいるところです。

◇土地利用（現況）

	農地		山林	宅地	公共・公益・道路	その他	計
	田	畑					
面積（ha）	386	505	642	621	444	583	3,181
割合（％）	12.1	15.9	20.2	19.5	14.0	18.3	100.0

出典：平成24年 都市計画基礎調査

◇土地利用分布図



出典：平成24年 都市計画基礎調査

4. 土地利用（規制）

本市は、玉穂地区と田富地区が甲府都市計画区域に、豊富地区が笛吹川都市計画区域に属しています。

玉穂地区と田富地区の甲府都市計画区域においては、用途地域が指定されている市街化区域と市街化調整区域の線引きが明確にされていますが、豊富地区の笛吹川都市計画区域は、非線引きの都市計画区域となっています。

◇都市計画区域の状況

区域等	面積（ha）	備考
甲府都市計画区域	1,831	玉穂地区、田富地区
うち市街化区域	685	玉穂地区、田富地区
うち市街化調整区域	1,146	玉穂地区、田富地区
笛吹川都市計画区域	893	豊富地区
中央市の都市計画区域（計）	2,724	
都市計画区域外	457	豊富地区
中央市の面積	3,181	

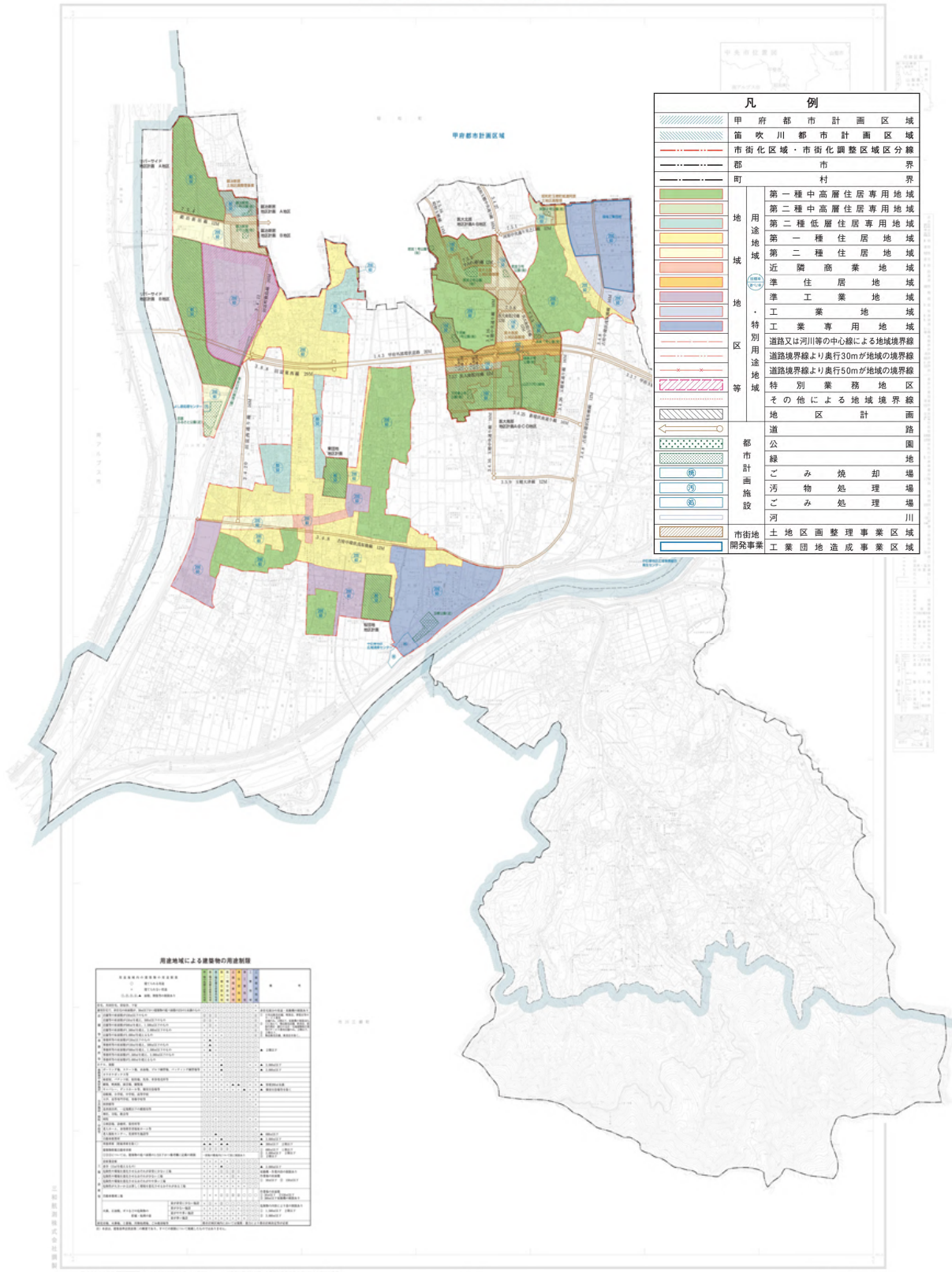
※小数点以下は四捨五入 出典：平成 24 年 都市計画基礎調査

◇用途地域の指定状況

区分	面積（ha）	割合（％）	容積率／建ぺい率
第2種低層住居専用地域	30.0	4.4	80／50
第1種中高層住居専用地域	226.0	38.8	200／60
第2種中高層住居専用地域	6.2	0.9	200／60
第1種住居地域	132.0	19.2	200／60
第2種住居区域	52.7	7.7	200／60
準住居区域	14.0	2.0	200／60
近隣商業地域	4.0	0.6	200／80
準工業地域	89.3	13.0	200／60
工業地域	9.9	1.4	200／60
工業専用地域	82.0	12.0	200／60
計	686.1	100.0	

出典：平成 24 年 都市計画基礎調査

中央市都市計画図



出典：平成 24 年 中央市都市計画図

○農業振興地域

本市の総面積3,169haのうち、2,495haが農業振興地域に指定されています。

農地は、農業振興地域内農用地として1,073ha、市街化区域内に97ha存在し、合計面積が1,170haとなっています。

また、農業振興地域内の内訳については、農用地1,022haのほか、農業用施設用地7ha、森林原野面積552ha、住宅地面積248ha、工業用地36ha、その他579haとなっています。

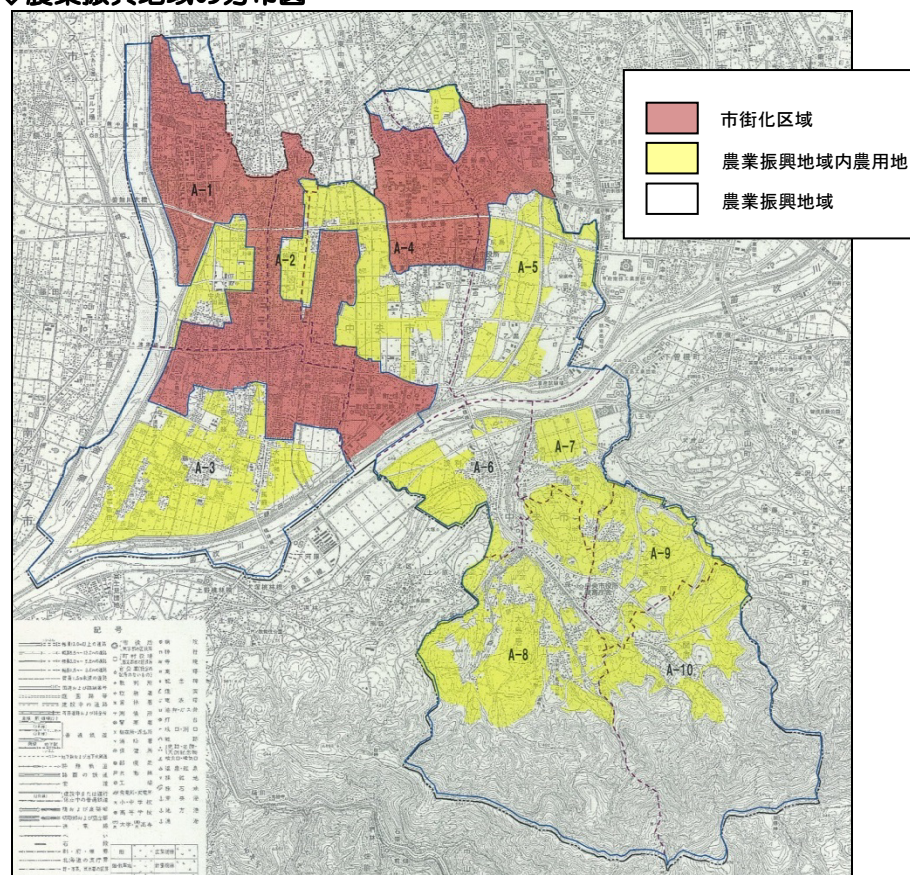
※総面積3,169haは、平成26年10月1日時点の面積

◇農業振興地域の土地利用状況

	総面積 (ha)	農用地 (ha)	農業 施設用地 (ha)	森林原野 (ha)	住宅地 (ha)	工業用地 (ha)	その他 (ha)
平成 12年	2,548	1,133	7	552	239	23	594
平成 19年	2,495	1,084	7	552	244	33	575
平成 25年	2,495	1,073	7	552	248	36	579

出典：平成27年 中央農業振興地域整備計画書

◇農業振興地域の分布図

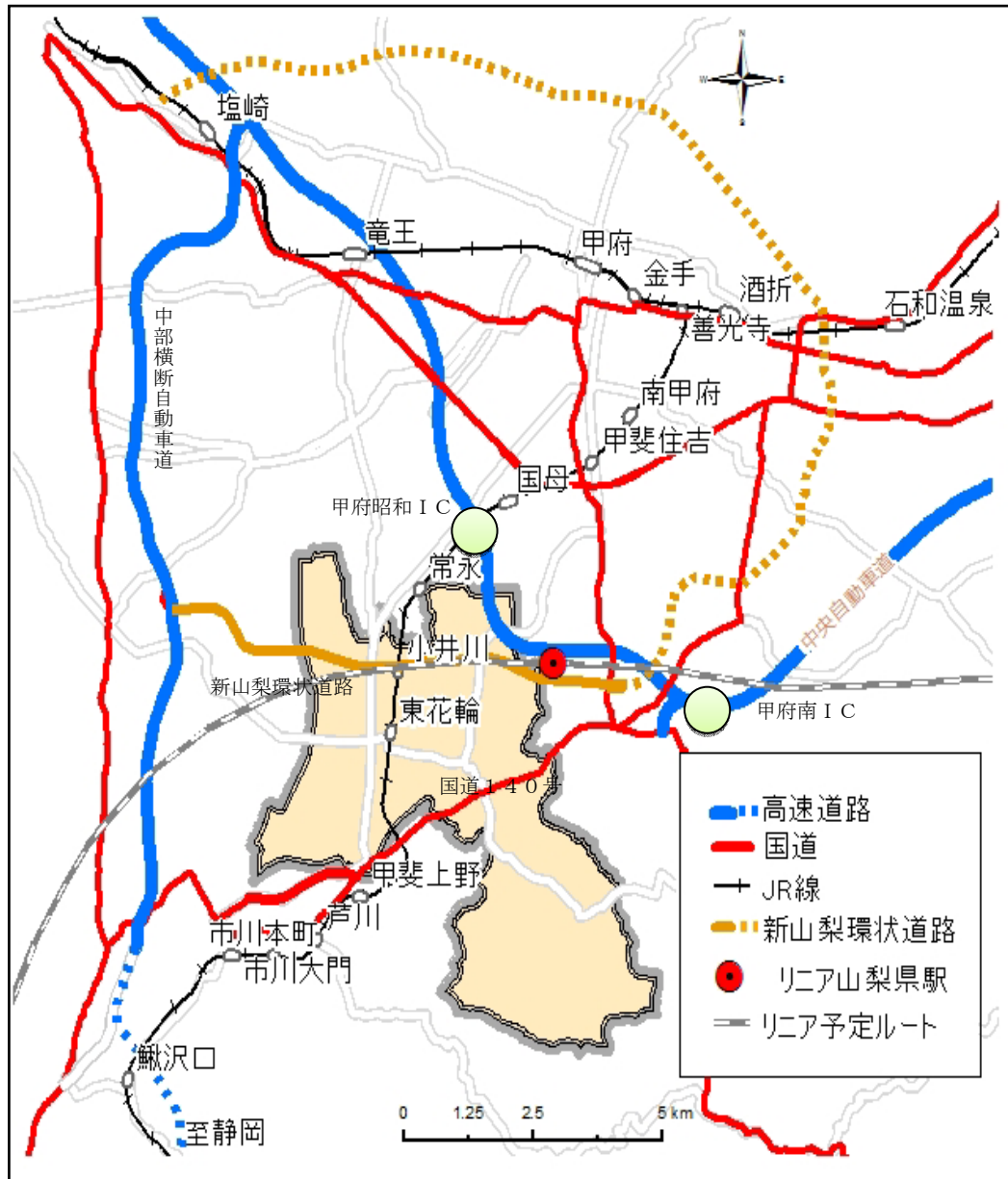


出典：平成27年 中央農業振興地域整備計画書

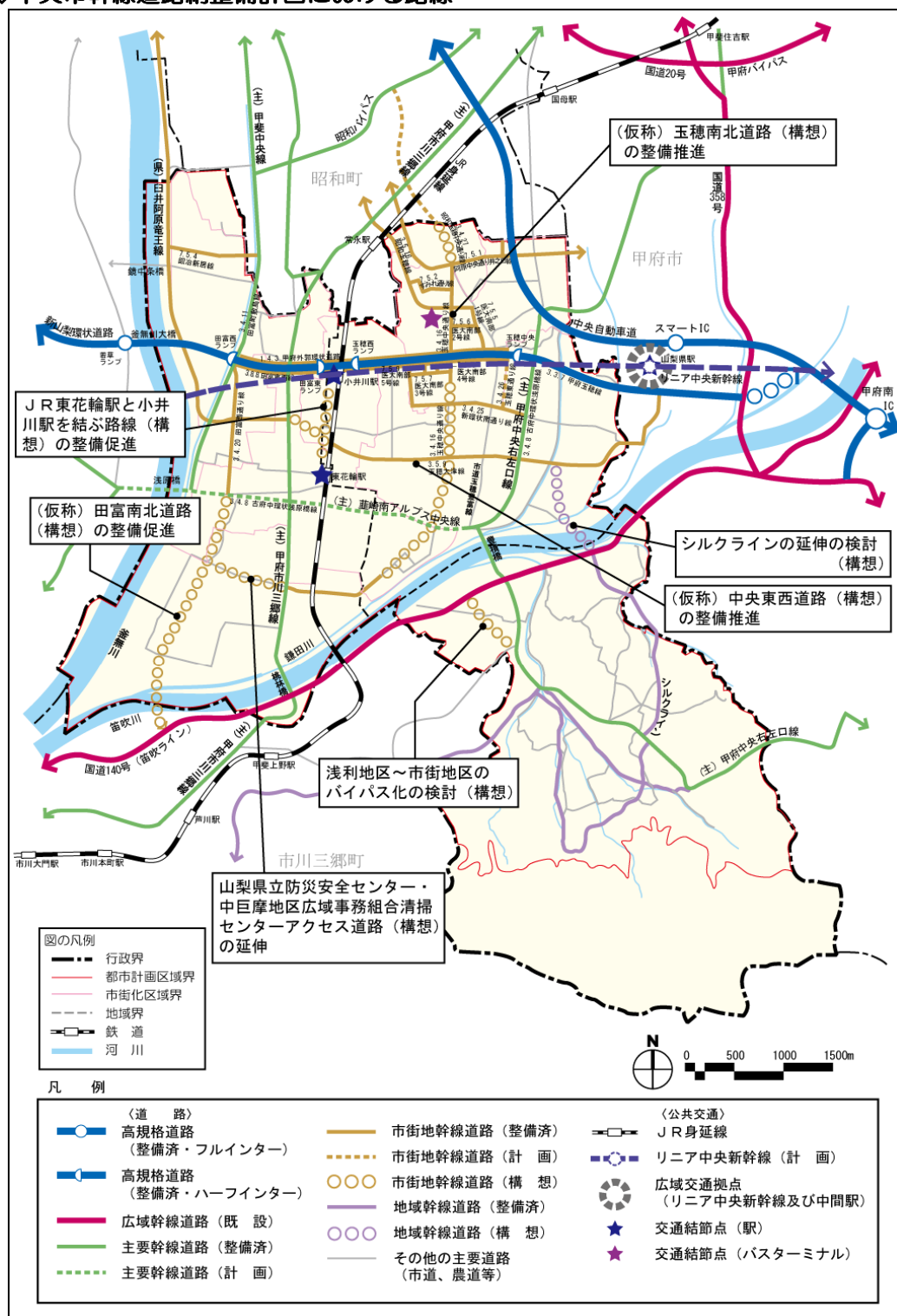
5. 道路

本市には、新山梨環状道路や国道 140 号、主要地方道路甲府市川三郷線などの幹線道路が通り、また、中央自動車道 IC（甲府南 IC、甲府昭和 IC）に隣接しています。

◇中央市及びその周辺の道路・鉄道の分布図



◇中央市幹線道路網整備計画における路線



出典：中央市幹線道路網整備計画

6. 公共交通

○バス

市内を通行する路線バスは、山梨大学医学部附属病院から甲府市方面に向けて5系統、豊富地区から甲府市方面が1系統、南アルプス市から本市を経由して甲府市に向かう便が1系統となっています。

また、市内のショッピングセンターや JR 身延線東花輪駅・小井川駅、市役所各庁舎、病院、温泉施設など各地を結ぶコミュニティバスが1日3、5往復運行されています。

◇コミュニティバス年間利用者数

	年間乗降客数（人）
平成 22 年度	6,049
平成 23 年度	7,496
平成 24 年度	7,290
平成 25 年度	8,554
平成 26 年度	8,660
平成 27 年度	9,143

出典：中央市コミュニティバス利用実績



コミュニティバス（愛称：とまチュウバス）

○電車

本市は、静岡県の富士市と甲府市を結ぶ JR 身延線が市内の南北に縦断しており、小井川駅と特急列車が停車する東花輪駅があります。

◇JR身延線各駅の年間乗車人員数

	東花輪駅（人）	小井川駅（人）
平成 22 年度	268,303	63,289
平成 23 年度	248,827	61,778
平成 24 年度	252,413	62,694
平成 25 年度	251,937	67,565
平成 26 年度	248,934	68,785

出典：山梨県統計年鑑

A detailed map of Yamanashi Prefecture, Japan, illustrating bus routes and key locations. The map includes a compass rose in the top left corner and a scale bar (0 to 2 km) in the bottom right corner. A legend in the bottom left corner defines the symbols used:

- バス停 (Bus Stop): Yellow dot
- 駅 (Station): Blue dot
- 主要ショッピングセンター・病院 (Major Shopping Center/Hospital): Orange dot
- 中央市コミュニティバス (Chiyama City Community Bus): Blue line
- 路線バスルート (Route Bus Route): Pink line
- リニア山梨県駅 (Shinkansen Yamanashi Prefecture Station): Red dot
- リニア予定ルート (Shinkansen Planned Route): Grey dashed line

Key locations and landmarks labeled on the map include:

- 至甲斐市 (To Kofu City)
- 至甲府市 (To Kofu City)
- 至富士川町 (To Fujikawa Town)
- リバーサイドショッピングセンター (Riverside Shopping Center)
- 山梨大学医学部附属病院 (Yamanashi University School of Medicine Affiliated Hospital)
- イオンタウン山梨中央 (Aeon Town Yamanashi Chuo)
- 小井川 (Koikawa)
- 東花輪 (Higahana)

The map shows a network of bus routes connecting various parts of the prefecture, with a focus on the central area around Yamanashi City. The Shinkansen route is also indicated, passing through the central part of the prefecture.



A photograph of a modern, multi-story building with a red-tiled roof, likely a school or public facility. In the foreground, there is a large paved area with a colorful geometric pattern in shades of red, yellow, and green. A black car is parked near the building. The sky is clear and blue.

14

7. 工業

市内には、山梨ビジネスパーク、国母工業団地、山梨県食品工業団地といった工業団地が3ヵ所あり、製造業関連の事業が展開されています。

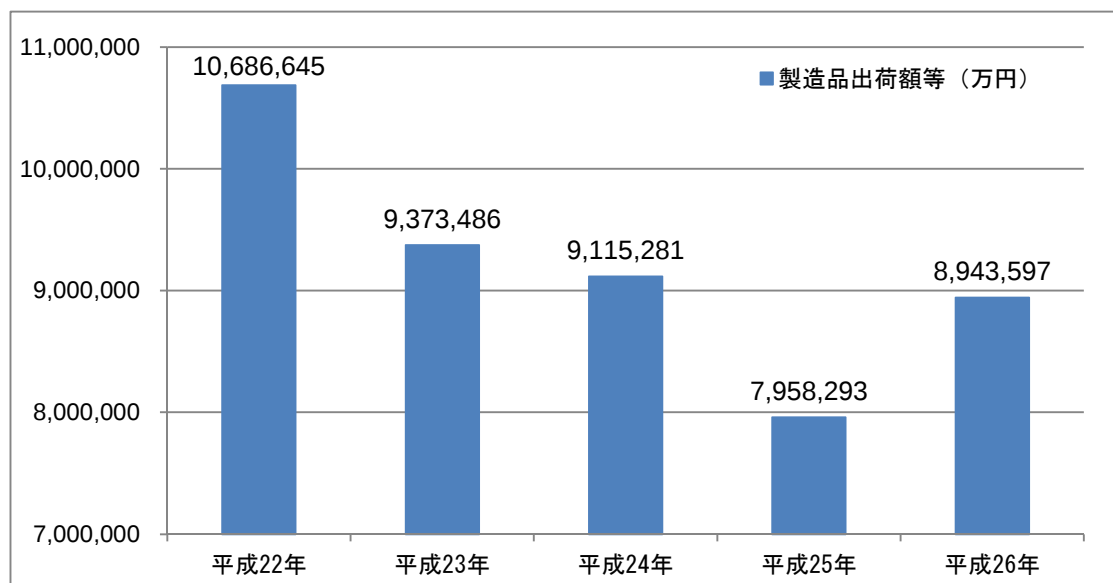
従業者数ベースでみると、製造品関連で最も多いのは「食料品製造業」で市全体の製造業従業者数の39.7%を占め、次いで「電気機械器具製造業」(14.5%)、「はん用機械器具製造業」(14.2%)、「電子部品、デバイス、電子回路製造業」(11.8%)の順となっています。

◇産業中分類別統計（従業者4人以上の事業所）事業所数等の内訳

	事業所数（事業所）	従業者数（人）	製造品出荷額等（万円）
中央市	46	3,458	8,943,597
食料	7	1,373	3,061,740
繊維	2	30	—
木材	1	5	—
紙製品	6	202	48,306
印刷	2	29	—
化学	1	111	—
ゴム	1	37	—
窯業	2	14	—
鉄鋼	2	19	—
金属	4	67	161,617
はん用	1	492	—
生産用	2	28	—
電子	4	407	82,344
電機	4	500	1,677,427
情通	2	114	—
輸送用	1	5	—
その他	4	25	46,015

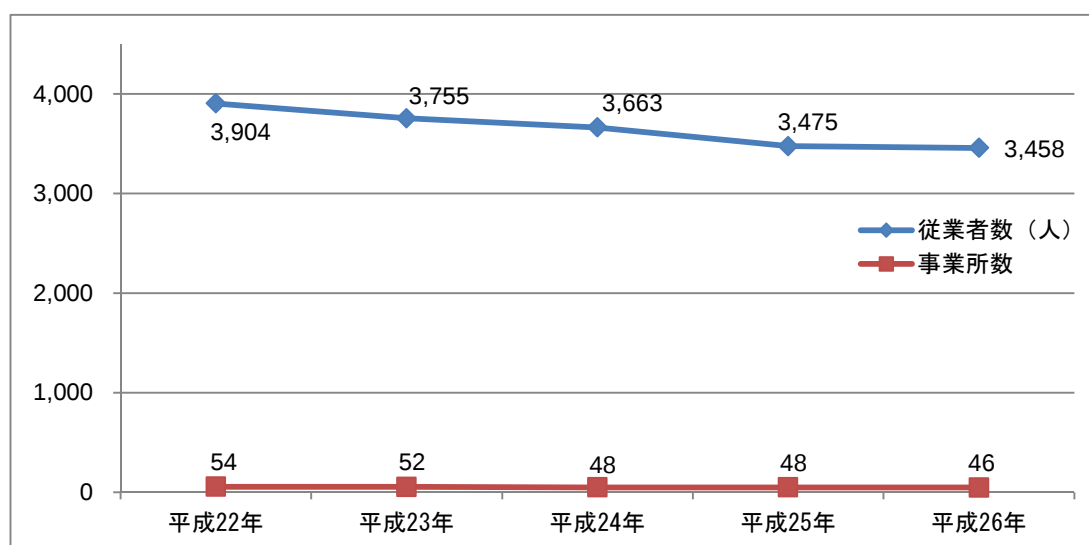
出典：平成26年 工業統計調査

◇産業中分類別統計（従業者4人以上の事業所）製造品出荷額等の推計



出典：工業統計調査

◇産業中分類別統計（従業者4人以上の事業所）事業所数・従業者数の推移



出典：工業統計調査

◇産業中分類別統計(従業者4人以上の事業所) 1 事業所当たりの
製造品出荷額等市町村別の比較

	事業所数 (事業所)	製造品出荷額等 (万円)	1 事業所当たり製造品出荷額等 (万円)	
甲府市	275	25,723,391	91,441	Rank ⑨
富士吉田市	166	11,207,323	67,045	Rank ⑪
南アルプス市	149	22,351,129	146,695	Rank ⑥
都留市	144	5,853,786	39,685	Rank ⑱
北杜市	124	19,065,339	150,689	Rank ⑤
上野原市	112	6,288,573	54,928	Rank ⑬
韮崎市	110	15,503,988	136,464	Rank ⑦
笛吹市	104	9,646,091	90,706	Rank ⑩
大月市	94	4,180,843	43,610	Rank ⑮
甲斐市	79	3,491,553	42,891	Rank ⑯
甲州市	74	3,213,438	40,942	Rank ⑰
山梨市	63	3,479,457	52,788	Rank ⑭
市川三郷町	53	3,444,575	63,911	Rank ⑫
昭和町	47	21,489,423	444,043	Rank ②
中央市	46	8,943,597	188,948	Rank ③
富士河口湖町	46	7,967,434	174,575	Rank ④
忍野村	45	33,126,314	746,274	Rank ①
富士川町	24	2,293,143	93,405	Rank ⑧
県平均	98	11,305,972	112,845	—

出典：平成 26 年 工業統計調査

8. 農業

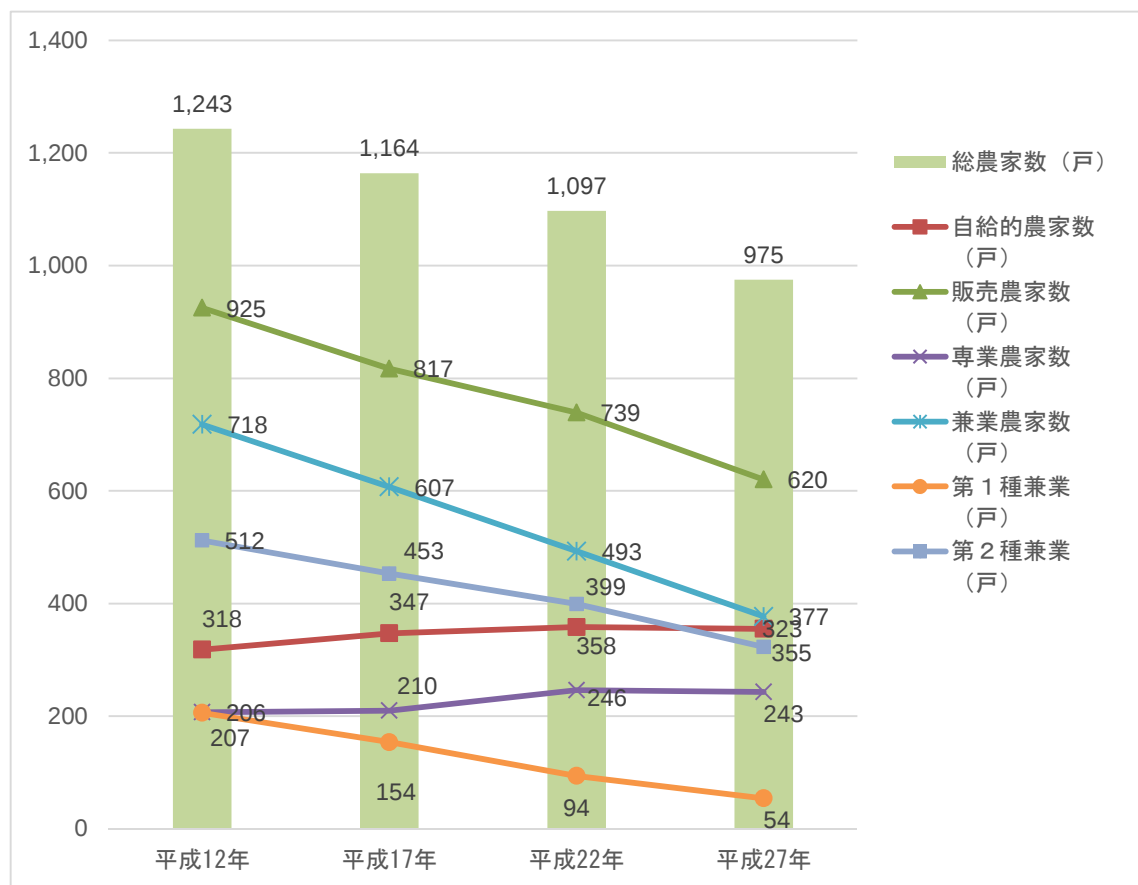
本市の農家数は、平成12年には1,243戸で市の総世帯数の11.3%を占めていましたが、平成27年には975戸となり市の総世帯数の7.6%までに減少しました。

内訳をみると、販売農家数、兼業農家数は減少しているものの、自給的農家、専業農家は増加傾向にあります。

◇農家数の内訳

	総世帯数 (戸)	総農家数 (戸)	農家の割合 (%)	自給的農家数 (戸)	販売農家数 (戸)	専業農家数 (戸)	兼業農家数 (戸)	第1種兼業 (戸)	第2種兼業 (戸)
平成12年	10,985	1,243	11.3	318	925	207	718	206	512
平成17年	11,849	1,164	9.8	347	817	210	607	154	453
平成22年	12,179	1,097	9.0	358	739	246	493	94	399
平成27年	12,798	975	7.6	355	620	243	377	54	323

出典：農林業センサス



出典：農林業センサス

○農地の状況

本市の耕地面積は、全体で496ha となっており、内訳は、田297ha、畑145ha、樹園地54ha となっています。水田率は約6割であり、県平均の約3割に比べ、高くなっています。

また、耕作放棄地は平成17年に一時的に減少しましたが、ここ近年は増加傾向にあり、県平均の約4割に比べ低いものの、全体の耕作面積に占める割合は約3割となっています。

◇本市の経営耕地面積の状況

	田 (ha)	割合 (%)	畑 (ha)	樹園地 (ha)	計 (ha)
平成 12 年	447	59.0	191	121	757
平成 17 年	368	60.7	142	98	606
平成 22 年	329	58.3	159	77	564
平成 27 年	297	59.9	145	54	496
山梨県	4,262	29.1	2,966	7,404	14,632

※数値は四捨五入のため計の値と一致していない

出典：農林業センサス

◇本市の耕作放棄地面積の状況

	耕作放棄地 (ha)	割合 (%)	耕作面積計 (ha)
平成 12 年	76	10.0	757
平成 17 年	39	6.4	606
平成 22 年	134	23.8	564
平成 27 年	154	31.0	496
山梨県	5,781	39.5	14,632

出典：農林業センサス

○生産の状況

本市の農産物の生産は、平成22年の時点で、トマト、キュウリ、ナス、トウモロコシなどの野菜（施設・露地）の生産が盛んな状況であります。

野菜で最も多くの生産量を占めているのがトマト（施設・露地）で3,078 t、次いでキュウリの1,757 t、トウモロコシの1,607 t、ナスの1,596 tの順となっています。

◇主要農産物の生産量と出荷量（平成22年）

作目	生産量（t）	出荷量（t）	作目	生産量（t）	出荷量（t）
米	1,496	1,331	かき	378	378
トマト（施設）	1,380	1,297	うめ	45	45
トマト（露地）	1,698	1,698	すもも	232	211
キュウリ（施設）	527	495	キウイフルーツ	45	45
キュウリ（露地）	1,230	1,230	花き（施設）	48,000 鉢	48,000 鉢
ナス（露地）	1,596	1,404	乳用牛	142	142
トウモロコシ （露地）	1,607	1,607	肉用牛	55 頭	55 頭
			豚	7,900	7,900
ぶどう	86	71	採卵鶏	1,102	1,102
もも	920	883	肉養鶏	366	366

出典：中央農業振興地域整備計画

9. 商業

本市における大規模小売店舗は、市内の北部に多く存在しています。

また、本市が全国813都市の中で総合第31位を獲得している「第23回全都市住みよさランキング」における「利便度」（人口あたりに占める小売業年間販売額や大規模小売店舗面積から算定）では、全国第8位となっています。

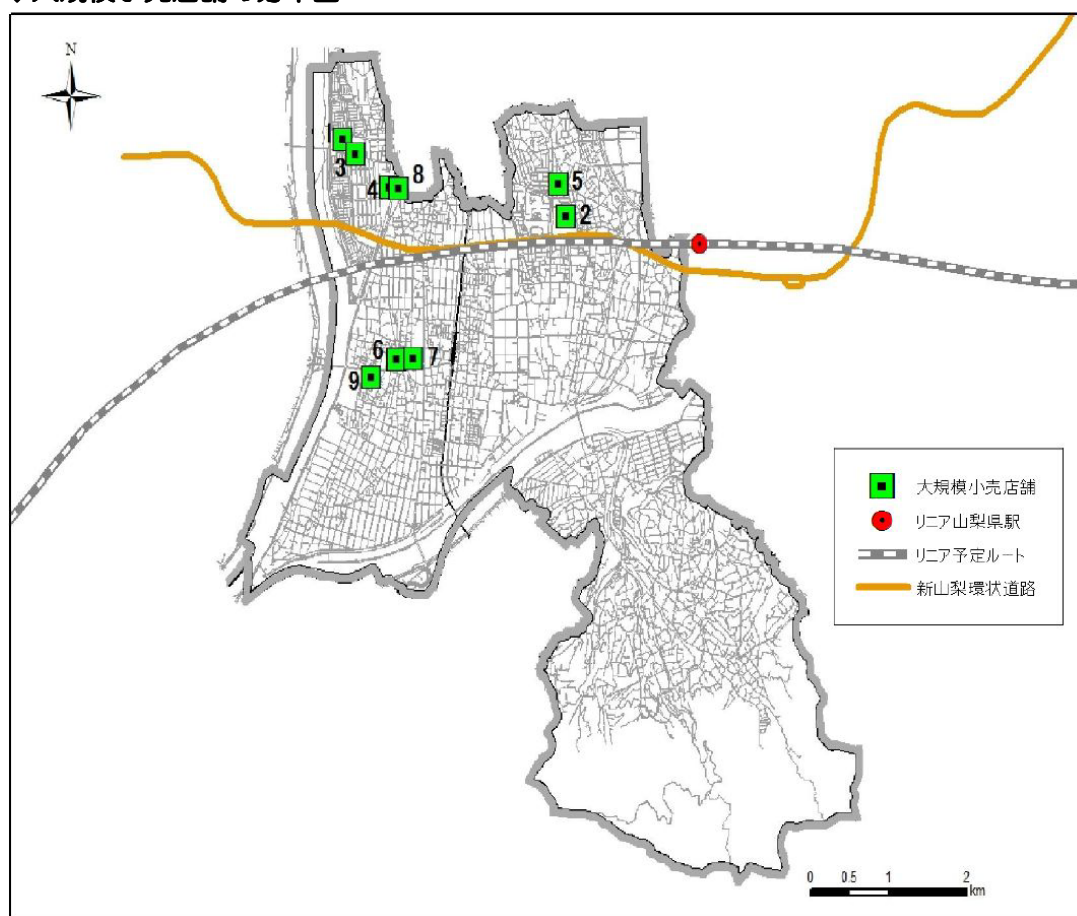
事業所数、従業者数、商品販売額は、近年減少が続いている状況です。

◇事業所数・従業者数・商品販売額

	事業所数	従業者数（人）	商品販売額（万円）
平成14年	363	4,050	16,983,510
平成16年	356	3,750	15,757,781
平成19年	364	3,747	15,707,156
平成23年	381	4,333	14,869,532
平成26年	297	3,540	14,156,047

出典：商業統計調査

◇大規模小売店舗の分布図



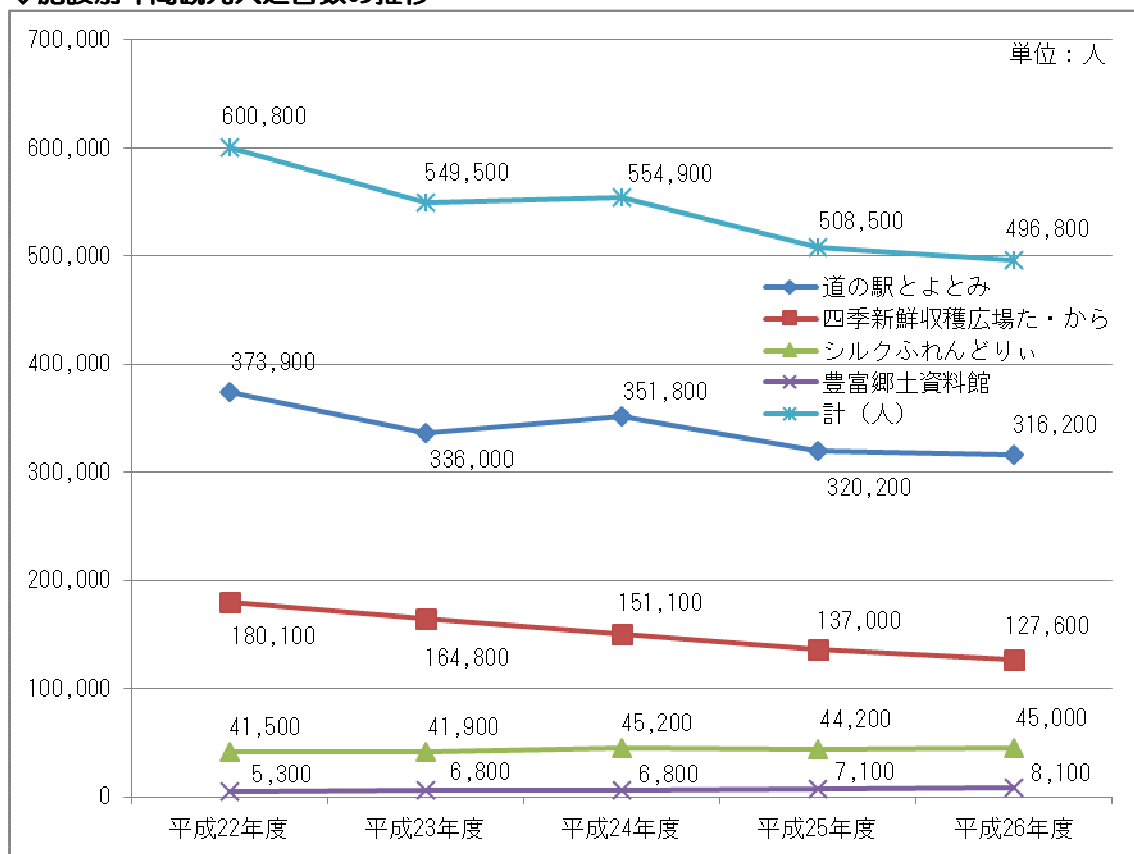
10. 観光

本市には、「直売所甲子園2009」で初代グランドチャンピオン賞を受賞した道の駅「とよとみ」や四季新鮮収穫広場「た・から」、宿泊設備や体験設備などを備えた「シルクふれんどりい」、地域の郷土資料を展示した「豊富郷土資料館」等の公共的な集客施設があります。

年間の観光入込客数は、「シルクふれんどりい」と「豊富郷土資料館」は増加傾向にあるものの、道の駅「とよとみ」と四季新鮮収穫広場「た・から」では減少傾向となっています。

市内の宿泊施設は2軒あり、民間のホテルと「シルクふれんどりい」があります。

◇施設別年間観光入込客数の推移



※数値は十の位以下は端数調整 出典：平成27年 中央市観光振興計画

◇市内の主な観光施設・資源

区分	名称	所在地区名
観光施設・名所	道の駅とよとみ	浅利
	四季新鮮収穫広場た・から	臼井阿原
	山の神千本桜	大鳥居
	妙泉寺しだれ桜	布施
	乙黒桜	乙黒
温泉・宿泊・体験施設	与一弓道場	大鳥居
	シルクふれんどりい	大鳥居
	田富福祉公園コミュニティセンター	臼井阿原
	豊富健康福祉センター	大鳥居
	中巨摩地区広域事務組合老人福祉センター	一町畑
資料館	豊富郷土資料館	大鳥居
公園	シルクの里公園	大鳥居
	田富ふるさと公園（水辺の楽校）	臼井阿原
	玉穂ふるさとふれあい広場	乙黒
国指定重要文化財	木造薬師如来坐像（歓盛院）	下三條
	木造聖観音菩薩立像（永源寺）	下河東
国登録文化財	旧小井川郵便局	布施
県指定文化財	八幡穂見神社本殿	布施
	甲斐国志草稿本及び編集諸資料	西花輪
	浅利与一層塔附五輪塔六基	大鳥居
	木造薬師如来坐像（大福寺）	大鳥居
市指定文化財	明暗寺尺八	
	粘土節 等 30 点以上	

出典：平成 27 年 中央市観光振興計画



四季新鮮収穫広場た・から



道の駅とよとみ



シルクふれんどりい

1 1. 防災

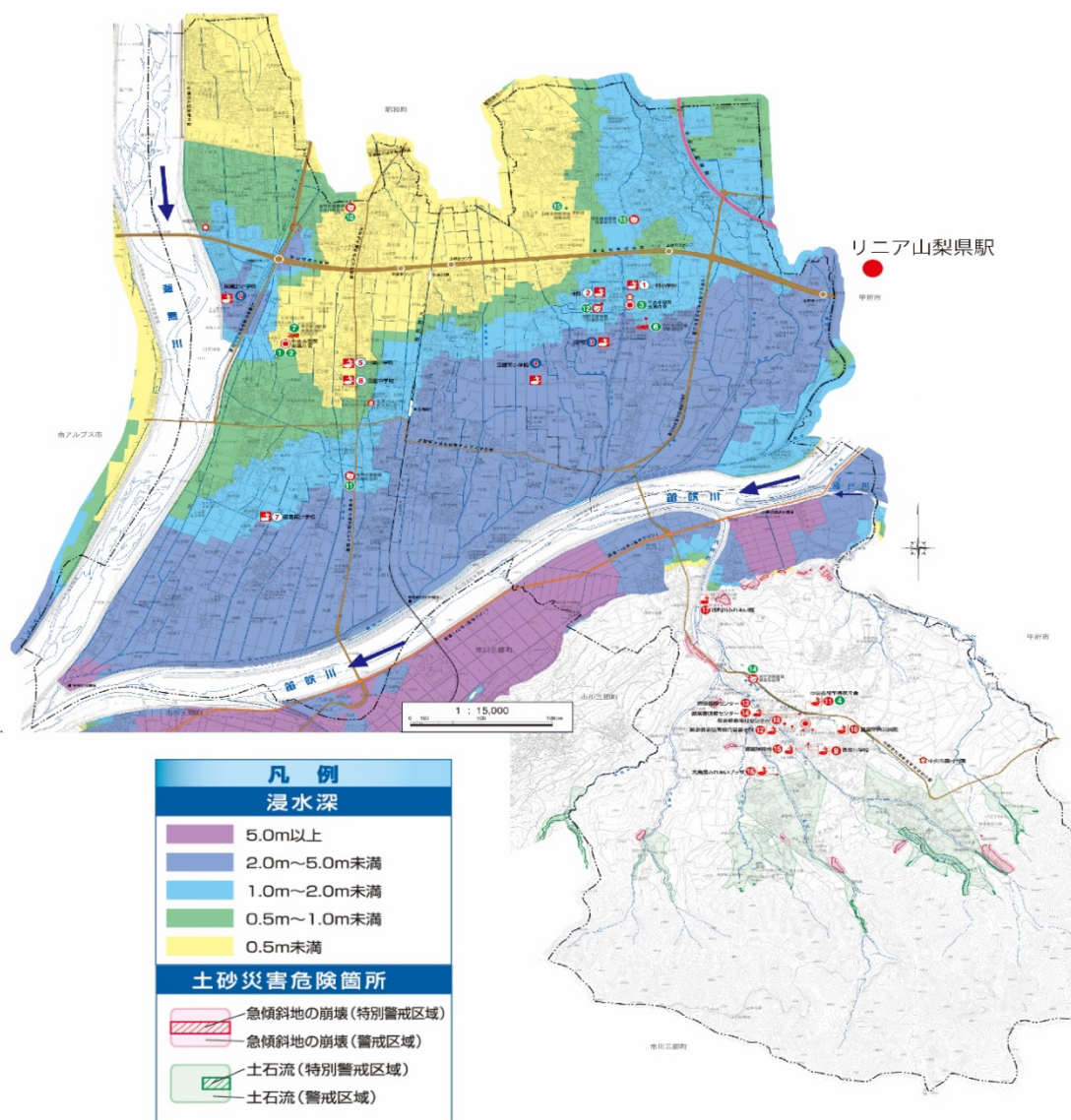
本市は、釜無川と笛吹川に挟まれた玉穂地区と田富地区、また、笛吹川の南側沿いの豊富地区があり、これらの地区の河川周辺では、大雨などによる洪水の危険性があります。

特に笛吹川沿いが洪水の危険性が高く、2mから5m、場合によっては5m以上の浸水深が想定されています。

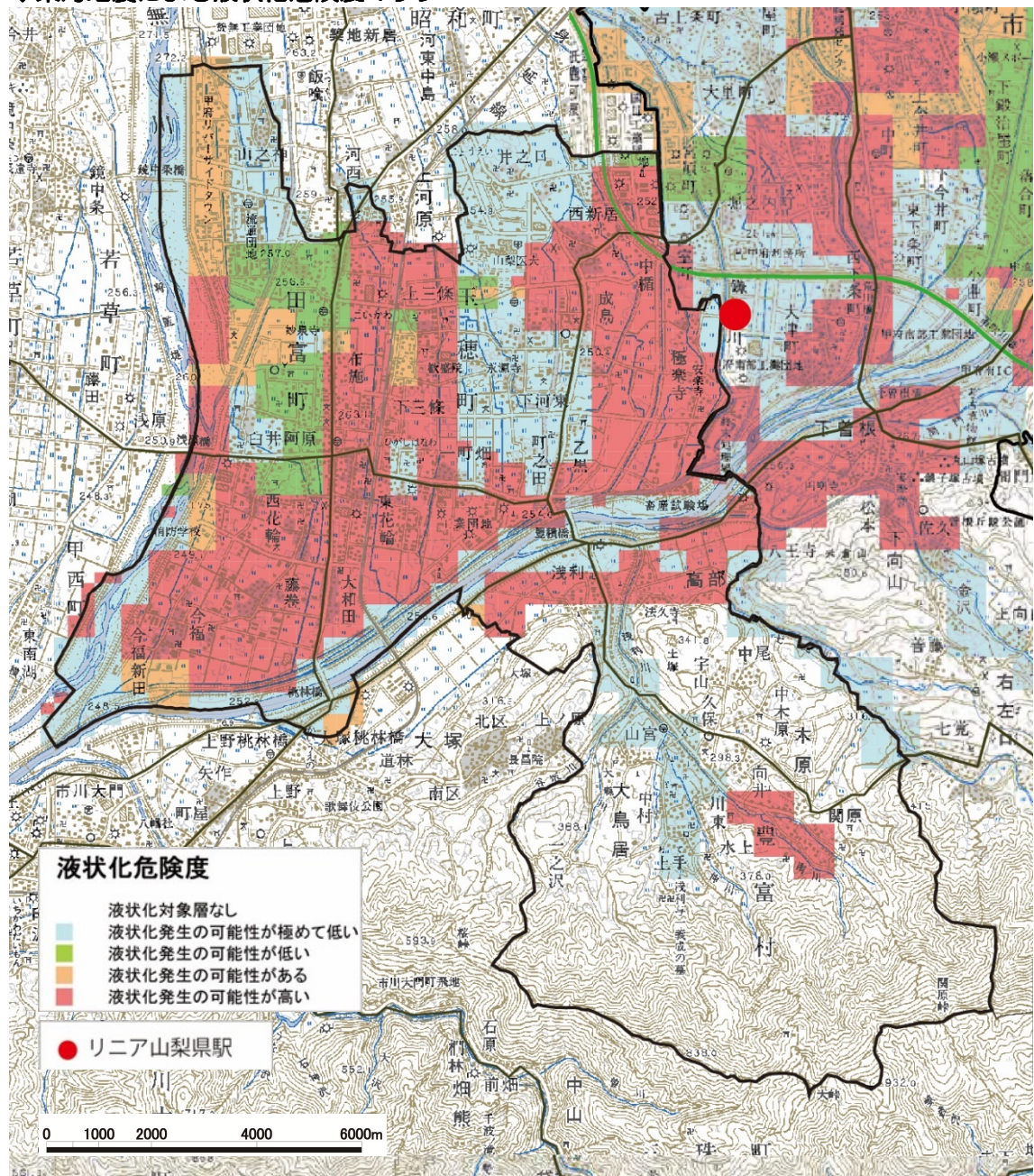
また、近い将来発生が予測されている東海地震により、液状化が発生する可能性が高い地域としても指定されています。

なお、豊富地区の南部の高台にある大鳥居地区、関原地区は洪水に対する心配はないものの大雨などの際に急傾斜地では土石流などの危険があり、土砂災害危険箇所として指定されています。

◇洪水ハザードマップ



◇東海地震による液状化危険度マップ



出典：山梨県 東海地震による液状化危険度マップ

12. 子育て・教育環境

(1) 保育園・認定こども園

本市には、保育園・認定こども園・小規模保育事業施設が10カ所あり、公立保育園が6カ所、認定こども園が3カ所、小規模保育事業施設が1カ所となっています。

そのうち、乳児保育は8カ所、延長保育は10カ所、一時預かり保育は3カ所で実施しています。

保育園の利用状況は、平成21年度から平成25年度までの定員率は75～80%の間で推移していますが、平成27年度においては、69.4%になっています。

(2) 児童館

本市には、児童館が11カ所あり、田富地区7カ所、玉穂地区3カ所、豊富地区1カ所となっています。

また、平成27年度の年間利用者数は、田富わんぱく児童館が8,829人と最も多く、次にひばり児童館7,827人、豊富児童館6,268人の順となっており、全児童の合計で43,527人の児童が利用しています。

子どもたちが健やかに育つことを願い、児童に健全な遊びを与え、健康を増進し、情操を豊かにする事を目的とし、地域の中での安全・安心な子どもの遊び場・居場所としての役割も果たしています。

(3) 放課後児童クラブ

本市には、小学生を対象とした放課後児童クラブが8カ所あり、田富地区4カ所、玉穂地区3カ所、豊富地区1カ所となっています。

市内に居住する小学校に就学している児童で、学校帰宅時に保護者が就労等のため家にいない児童に対し、専任職員が児童の健全育成と保護者に代わって家庭養育等の指導をします。

主に市立児童館を活用し遊びと生活の場を提供しています。

(4) 子育て支援サークル

本市には、子育て支援サークルなどの団体が3つあり、就園前の子とその母親を対象に定期的な活動をしています。

活動内容は、リトミック教室やコンサート、読み聞かせ、お話し会など様々です。

(5) 小・中学校

市内には、公立小学校が6校と公立中学校が2校あり、「まごころ」を教育の基本に、生きる力をはぐくむ教育（生）・命を大切にする教育（命）・信頼しあう教育（信）を3本の柱として取り組んでいます。

また、山梨大学教職大学院連携協力校として、先進的な教育活動を展開し、道德教育や英語教育、多文化共生活動などそれぞれの学校が特色ある取り組みを行っています。

(6) 図書館

市内には、図書館が3館あり、学びの場と安らぎを提供しています。

また、日本図書館協会による「日本の図書館 統計と名簿2015」によると、人口4万人未満の全国95市の中で、貸出数が全国2位となっており、多くの方に利用されています。

1-2 本市の強み（ポテンシャル）

1. 農産物栽培に適した気候

甲府盆地の内陸性気候が顕著に現れる本市の気候は、日照時間を長く有し、1日の気温差が大きく、年間降水量の少ない、農産物の栽培に適した特徴を持っています。

2. 低水準な高齢化率と人口減少率

本市の人口は約3.1万人であり、平成17年まで生産年齢人口の増加により進展を遂げてきたことなどから、高齢化率は県内自治体の中でも低い水準にあります。

また、将来人口は年々減少する予測はあるものの、減少率という点で見ると県内自治体と比べて低くなっています。

3. 豊かな自然環境

本市の面積の約1/3を農地が占め、玉穂地区や田富地区においては水稻や野菜作りが中心であり、豊富地区においては果樹や野菜作りが盛んであります。

春には桜の花や桃の花、すももの花などが咲き、夏には緑がまぶしく、秋には木々が紅葉に染まるとともに黄金色の田園風景が広がり、冬には山々が雪化粧するなど四季折々の自然風景が見られ、市内は美しい田園風景や里山の環境となっています。

玉穂地区、田富地区の水田地域からは富士山や南アルプス等の山並みの眺望景観、豊富地区の高台からは甲府盆地の眺望景観を有しています。



水田地域



中央市全景

4. 道路交通の要衝

本市には、高規格道路として、新山梨環状道路が本市を東西に横断しており、市内に4ヵ所のランプが整備されています。

また、中央自動車道甲府南ICや甲府昭和IC、今後リニア山梨県駅周辺に整備が予定されている（仮称）甲府中央スマートIC、中部横断自動車道南アルプスICに近接しています。

主要な幹線道路としては、甲府市・昭和町・市川三郷町方面を連絡している南北方向の主要地方道甲府市川三郷線、甲府中央右左口線及び甲斐中央線、甲府市・南アルプス市等を連絡している東西方向の国道140号と主要地方道韮崎南アルプス中央線があり、各地域に容易にアクセスできる交通の要衝となっています。



新山梨環状道路

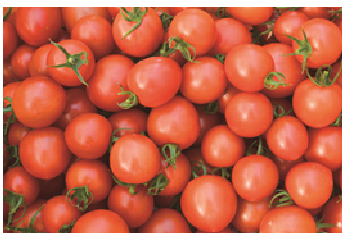
5. 特色ある農産物

本市は、稲作や野菜の栽培が盛んで、トマトやキュウリ、トウモロコシ、ナスなどが栽培されています。

トマトは、野菜指定産地の指定を受け、先進技術等の積極的な活用や優良品種の導入等が行われています。

トウモロコシは、消費者ニーズの高いイエロー系の品種「ゴールドラッシュ」の栽培が中心で、ブランド化しつつあります。

水稻は、地域の特性を活かした減化学肥料、減化学農薬によるブランド米「富穂」がANA国際線ファーストクラスの機内食に採用された経過があります。



フルーツトマト



ゴールドラッシュ



ブランド米「富穂」

6. 子育て・教育環境の充実

本市は、保育園・認定こども園・小規模保育事業施設、児童館、放課後児童クラブ、子育て支援サークルといった、子育て支援の施設・取り組みが充実しており、暮らしやすい環境が整っています。

また、小学校・中学校での「まごころ」を教育の基本とした特色のある取り組みや、図書館が充実しており、子どもの学びの場が充実しています。



保育園の園児たち



親子リトミック教室



親子ふれあい農村体験

7. 医療・福祉環境の充実

(1) 医療

市内には、県内唯一の特定機能病院として、地域の中核的医療及び高度医療を担う山梨大学医学部附属病院があり、医療ケア体制が充実しています。

また、一般診療所（内科、小児科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、精神神経科）や歯科診療所が38カ所、訪問看護ステーションが1カ所あり、地域医療・在宅医療支援が充実している環境にあります。



山梨大学医学部附属病院

(2) 福祉

市内には、グループホームや特別養護老人ホーム、介護老人保健施設が7カ所あり、高齢者の介護支援体制が充実しています。

第23回全都市「住みよさランキング」（2016年）において、全国813都市の中で本市は、病院・一般診療所病床数（人口当たり）や介護老人福祉施設・介護老人保健施設定員数（65歳以上人口当たり）から算出される「安心度」で第55位となっていて、高齢者福祉の充実度がうかがえます。



健康体操サークル

8. 商業環境の充実

本市には、大規模小売店舗が多く存在しています。

また、本市が全国813都市の中で総合第31位を獲得している第23回全都市「住みよさランキング」（2016年）における「利便度」（人口あたりに占める小売業年間販売額や大規模小売店舗面積から算定）では、全国第8位となっていることから、大規模小売店舗は充実していることがうかがえます。



イオンタウン山梨中央



リバーサイドショッピングセンター

1-3 本市の弱み（課題）

1. 高齢化率の上昇

本市の人口は、平成17年をピークに減少傾向にあります。著しく減少している状況ではなく微減しています。

年齢別の人口推移をみると14歳未満の年少人口が年々減少傾向にあり、逆に65歳以上の老年人口が増加傾向にあります。

このことから、高齢化率が年々上昇しています。

健康・医療・福祉などの分野の強化を図ることや子育て世代を呼び込む対策が必要とされます。

2. 無秩序な土地利用への懸念

本市の玉穂地区と田富地区は、甲府都市計画区域の範囲にあり、市街化を促進する市街化区域と市街化を抑制する市街化調整区域が混在しています。

市街化区域においては、土地利用に対し用途地域が指定され計画的なまちづくりが進められています。

豊富地区は、笛吹川都市計画区域の範囲にあり、市街化区域と市街化調整区域の区分や用途地域などの指定はなく、無秩序な土地利用が進められる懸念があります。

社会情勢や需要の動向を注視しながら、地区計画や土地利用に係る条例制定などの手法により、リニア開業後の姿にも目を向けた計画的な土地利用方法を検討する必要があります。

3. 道路網の整備

本市内を、中央自動車道や中部横断自動車道、新山梨環状道路、国道140号といった幹線道路が整備されていますが、玉穂中央通り線や昭和玉穂中央通り線など、未整備の都市計画道路や主要道が存在します。

本市の幹線道路網整備計画に基づき、優先順位を決め国の交付金等を活用しながら効果的に道路を整備していくことが必要とされます。

4. 公共交通網の整備

本市の都市計画マスタープランでは、鉄道駅の利用とバス交通の充実を図るため、市内のJR身延線東花輪駅と小井川駅、山梨大学医学部附属病院にあるバスターミナルの3カ所の交通結節機能の強化を道路・交通まちづくり方針として位置付けており、現在、地域内フィーダー系統確保維持計画に基づき、3カ所を結ぶ路線としてコミュニティバスを運行しています。

その他、計7系統のバスが市内を通行していますが、いずれの系統もリニア山梨県駅周辺は経由していません。

JR身延線東花輪駅・小井川駅、山梨大学医学部附属病院にリニア山梨県駅を交通結節点として加えた公共交通のあり方について検討する必要があります。

5. 産業分野における工業系事業所数と従業者数の減少

本市の産業（工業系）における事業所数（従業者4人以上の事業所）は、年々減少傾向にあり、また、それに伴い、従業者数も同様に年々減少傾向にあります。

既存の工業団地と連携した産業の誘致や健康寿命等に関連した新たな産業の集積を図るため、産官学金民が一体となって取り組む姿勢が必要とされます。

6. 経営耕作面積と農家数の減少

本市の経営耕作面積は田畑ともに年々減少しています。

また農家の数も、年々減少しています。

一方、耕作放棄地は年々増加しています。

農家数の減少を最小限に食い止めるために、個々の農家の技術力、経営が発揮できるような対策が必要とされます。

7. 観光資源の発掘

本市には、県内の主要観光地である富士山や清里などといった全国的に有名な観光資源が乏しく、また、観光客等が宿泊できる施設も2軒と少ない状況です。

本市を拠点に観光してもらえるような拠点施設の誘致や今ある観光資源の活用、また、新たな観光資源の発掘やPRが必要とされます。

8. 自然災害に対するリスク

本市は、洪水ハザードマップで浸水深の心配される広いエリアがあります。

また、急傾斜地もあるため、土石流などの心配もあります。

水害に対する治水対策や崖崩れ等の治山対策といった安全に対する強化が必要とされます。

9. 商店街などのにぎわいの形成

商業環境の充実があるものの、いわゆる商店街などのにぎわいがある通りなどは見られず、人の賑わいの中心となるようなエリア・地域が存在しません。

にぎわいの中心となる地域の形成が必要とされます。